

科目名	青年心理学						
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n)を参照				
開講期	春/秋	開講学部等	共通教育科目	配当年次	1年次	単位数	2単位
教員名	田中 久美子						

授業概要／Course outline

大人への移行期となる青年期では、心身ともに大きな変化を経験し、情緒的にも不安定になりやすい。そして、この時期の過ごし方や人とのかかわり方は、その後の人生にも大きな影響を及ぼす。授業では、第二次性徴に伴う身体意識の高まりや、家族や友人などとの関係を通じて、自分自身への認識を深めていく青年期の行動や心理に関する発達課題・教育課題について講義する。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

- ・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））
- ・臨時試験（中間テスト・学期末テスト）の解説や振り返りをオンデマンド授業として実施する。

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回 テーマ：授業についてのガイダンス

心理学とはどのような学問か、人の発達過程において青年期とはどのような時期かなど、青年心理学に関する導入的な説明を行う。また、授業の進め方や学期の授業スケジュールの詳細についても示す（以後のスケジュール管理を徹底すること）。

第2回 テーマ：青年期の自己（1） 自分を知る

アイデンティティという概念をキーワードとしながら、良いところもそうでないところも含めて「自分らしさ」とはどのようなことかを考える。

第3回 テーマ：青年期の自己（2） 自己成長のプロセス、大学生のキャリア意識

エリクソンの発達理論を用いて、青年期をはじめ各成長段階の発達の課題を説明する。また、自己の成長が大学生のキャリア発達に与える影響について考える。

第4回 テーマ：身体意識（1） 第二次性徴の発現と心身の変化

思春期（青年期前期）に経験する身体的変化に伴う悩みや不安など、心身の関係について考える。

第5回 テーマ：身体意識（2） 現代青年の身体をめぐる諸問題

自己の身体イメージのゆがみや不安定さが原因となる現代的な事象や心の病気を取り上げる。

第6回 臨時 中間テスト

「青年期の自己」、「身体意識」を中心に出題の予定である。テストの実施日、実施方法の詳細については、第1回の授業および直前の授業にて説明する。

★オンデマンド

中間テストの解説動画（45分程度）

（テスト終了後2日以内にmoodleに動画URLを貼る、視聴期間は配信日から2週間とする）

第7回 テーマ：友人関係（1） 友人関係の意義

青年期の対人関係で重要となる友人との関係のあり方を考える。

第8回 テーマ：友人関係（2） 友人関係の発達の变化

多くの時間を共に過ごす友人に対して、肯定的感情だけでなく否定的感情を抱くこともある。友人と程よい距離で関わり合うための方法を探る。

第9回 テーマ：性的発達（1） 人を好きになる条件や状況

なぜ、その相手を好きになるのか？ 対人魅力の要因について考える。

第10回 テーマ：性的発達（2） 恋愛行動

青年にとって、恋愛関係を構築、維持することは、精神的健康にも影響する。恋愛を通しての自己の成長について考える。

第11回 テーマ：性的発達 (3) 失恋による否定的感情とその対処、青年の恋愛離れ

失恋という事象を客観的に把握し、関係破綻後の否定的感情とどのように向き合い、乗り越えるかを考える。また、近年増えつつある恋愛に価値を見出さない若者についても取り上げる。

第12回 テーマ：心の健康 (1) ストレスのしくみ

日常的に広く使われているストレスという言葉。その正体や発生のしくみを紹介する。

第13回 テーマ：心の健康 (2) ストレス対処

ストレスと上手につき合う方法を学び、心身のリズムを自らコントロールできるようになることを目指す。

第14回 臨時 学期末テストとその解説

「友人関係」、「性的発達」、「心の健康」を中心に出题の予定である。テストの実施日、実施方法および動画配信日の詳細については、第1回の授業および直前の授業にて説明する。

★オンデマンド

学期末テストの解説動画 (45分程度)

(テスト終了後2日以内にmoodleに動画URLを貼る、視聴期間は配信日から2週間とする)

事前・事後学修/Preparation and assignments

授業で扱うテーマの多くは大学生にとって日常的な事象であるが、いずれも青年期における発達の課題の「自分を知ること」につながる。そのため、授業を通じて、各事象の背景にある心理学的意義について深く考え、授業で得た知識やスキルを日常生活で応用すること。

[事前学修] では、授業前にmoodleにアップロードする資料をよく読み、各回のテーマに関する自分の知識と考えを明確にした上で授業に臨むこと。

[事後学修] では、授業資料を再読し、次の授業に生かせるよう知識を定着させるほか、授業内容に関連する文献や情報を収集して読み込み、理解を深めること。レポート課題のある場合は、それを期日までに仕上げ、提出すること。

*各授業で、事前・事後学修計3時間(テスト前には4時間)を要する。

第1回 テーマ：授業についてのガイダンス

[事前学修] このシラバスをよく読み、履修のミスマッチがないようにする。

[事後学修] 授業中に紹介した青年心理学の話題に関連する文献や情報を収集して読み込む。

第2回 テーマ：青年期の自己 (1) 自分を知る

[事前学修] 中学・高校・大学にかけて、自分自身について深く考えた自らの経験を振り返っておく。

[事後学修] 配布資料を再読し、知識を定着させる。授業内容に関連する文献や情報を収集して読み込み、理解を深める。

第3回 テーマ：青年期の自己 (2) 自己成長のプロセス、大学生のキャリア意識

[事前学修] 本授業にスムーズに入れるよう、前回分のキーワードを再度確認しておく。大学卒業後どうありたいか、自らの姿をイメージしておく。

[事後学修] 配布資料を再読し、知識を定着させる。授業内容に関連する文献や情報を収集して読み込み、理解を深める。

第4回 テーマ：身体意識 (1) 第二性徴の発現と心身の変化

[事前学修] 思春期頃の身体変化と、それに伴う感情経験について振り返っておく。

[事後学修] 配布資料を再読し、知識を定着させる。授業内容に関連する文献や情報を収集して読み込み、理解を深める。

第5回 テーマ：身体意識 (2) 現代青年の身体をめぐる諸問題

[事前学修] 本授業にスムーズに入れるよう、前回分のキーワードを再度確認しておく。

[事後学修] 中間テストについてアナウンスする。試験に備えて、配布資料を見直し学修する。

第6回 臨時 中間テスト

[事前学修] テストに備えて、配布資料を見直し学修する。

[事後学修] オンデマンドによる解説動画により、テストの復習をする。

第7回 テーマ：友人関係（1） 友人関係の意義

【事前学修】 中学・高校・大学を通じて友人関係にどのような違いがあったか、自らの経験を振り返っておく。

【事後学修】 配布資料を再読し、知識を定着させる。授業内容に関連する文献や情報を収集して読み込み、理解を深める。

第8回 テーマ：友人関係（2） 友人関係の発達的变化

【事前学修】 本授業にスムーズに入れるよう、前回分のキーワードを再度確認しておく。

【事後学修】 配布資料を再読し、知識を定着させる。授業内容に関連する文献や情報を収集して読み込み、理解を深める。

第9回 テーマ：性的発達（1） 人を好きになる条件や状況

【事前学修】 これまでに好意をもった相手とは、どこでどのように出会い、関係を深めていったか、自らの経験を振り返っておく。

【事後学修】 配布資料を再読し、知識を定着させる。授業内容に関連する文献や情報を収集して読み込み、理解を深める。

第10回 テーマ：性的発達（2） 恋愛行動

【事前学修】 本授業にスムーズに入れるよう、前回分のキーワードを再度確認しておく。

【事後学修】 配布資料を再読し、知識を定着させる。授業内容に関連する文献や情報を収集して読み込み、理解を深める。

第11回 テーマ：性的発達（3） 失恋による否定的感情とその対処、青年の恋愛離れ

【事前学修】 本授業にスムーズに入れるよう、前回分のキーワードを再度確認しておく。

【事後学修】 配布資料を再読し、知識を定着させる。授業内容に関連する文献や情報を収集して読み込み、理解を深める。

第12回 テーマ：心の健康（1） ストレスのしくみ

【事前学修】 大学生活における悩みや不安にはどのようなものがあるか。そして、それらが自らの心身にどのような影響を及ぼしているか振り返っておく。

【事後学修】 配布資料を再読し、知識を定着させる。授業内容に関連する文献や情報を収集して読み込み、理解を深める。

第13回 テーマ：心の健康（2） ストレス対処

【事前学修】 本授業にスムーズに入れるよう、前回分のキーワードを再度確認しておく。

【事後学修】 学期末テストについてアナウンスする。試験に備えて、配布資料を見直し学修する。

第14回 臨時 学期末テスト

【事前学修】 テストに備えて、配布資料を見直し学修する。

【事後学修】 オンデマンドによる解説動画により、テストの復習をする。

授業の到達目標／Expected outcome

- ・ 青年心理学に関する基本的な知見を身につけ、青年期を生きる受講生が自身の諸体験を振り返り、自己に対する理解を深めること。
- ・ 青年期を起点として、これまでの自分・これからの自分を思い浮かべ、人の発達とはどのようなものかという発達観について理解を深めること。
- ・ 社会には多様な属性があり、人も多様な特性やアイデンティティを持つことを理解し、自身が関わる相手の多様性を尊重できるようになること。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- ・ 思考力
- ・ 幅広い教養

履修上の注意／Special notes, cautions

- ・ 諸状況への対応として Microsoft Teams (Teams) を使える学習環境を確保すること。その他、MicrosoftのOffice製品の基本操作にも徐々に使い慣れていってほしい。
- ・ 各テーマの内容は、複数回の授業により完結するため、コンスタントに受講すること。
- ・ 心理学の学びを通して、自分自身の諸問題と向き合い、心や行動のあり方について深く考えようとする者の受講を強く希望する。

評価方法／Evaluation

- ・テスト80% と課題レポート（数回）20% とで総合的に評価する。
- ・課題レポートの一部については、無記名にて翌週の授業時にフィードバックし、コメントする。

教材／Text and materials

各回の授業で配布するPDF資料に沿って進める。資料は、授業前にmoodleにもアップロードする。主に講義型の授業となるが、心理テストなどを取り入れ、学生自身のデータを授業内容に反映していく。また、授業内容の理解を深めるために、関連する動画資料も用いる。

教科書：なし

参考書等：適宜、指示する。

質問や相談の方法／Instructor contact

質問・相談については授業後に対応する。また、教員と個別に連絡を取りたいときには、メールおよびTeamsのチャット機能を利用すること。詳しくは第1回の授業時に説明する。